

警察庁によると、昨年1年間に大麻事件で摘発されたのは過去最多の6482人（前年比1140人増）に上り、初めて覚醒剤事件の摘発者数を上回りました。また10歳代が122

2人（前年比310人増）と初めて1000人を超える若年層での大麻の蔓延まんえんが深刻化しています。動機は「好奇心・興味本位」が多く、若年層では入手先を知った方法は「インターネット経由」が約

半数で、入手が容易で有害性の認識が低くなっているとみています。「たばこやアルコールより害が少ない」「自然のものなので危険じゃない」「大麻から他の強い薬物に手を出すことはない」「合法な国や地域があるくらいだから大丈夫」などと誤った情報が氾濫しています。断る勇気、断れる環境を社会で作って、子どもたちを守りましょう。

危険！若年層で大麻蔓延

法な国や地域があるくらいだから大丈夫」などと誤った情報が氾濫しています。断る勇気、断れる環境を社会で作って、子どもたちを守りましょう。

防犯一口メモ